

鵜坂地区社会福祉協議会の状況

令和4年6月現在

		設立年月	平成17年4月1日		
会長	島田 英世		副会長	大西貞夫 田中昌明 脇野聡美 勝原隆彦 竹内久子	
事務局所在地	地区センター内・公民館内・その他（会長、事務局長宅等） ○をお願いします				
事務局TEL	465-2494	事務局FAX	同左	事務担当	谷井正志
人口	11,866 人	世帯数	4,758 世帯	高齢化率	19.4 %
当年度予算額	1,820,546 円	年間会費(1世帯)	300 円		

- 一人暮らし高齢者とのふれあい交流
協議会の役員が一人暮らし高齢者のお宅を訪問して、小学生のお手紙を添えて花鉢などを配布する。(12月中旬予定)
- 配食サービスの実施
75歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、民生委員が弁当を届ける。その際に日常の困りごとなどを聞き取る。(11月中旬予定)
- 広報誌の作成(年1回)
鵜坂地区社会福祉協議会の活動を掲載し、鵜坂地区の全戸に配布する。
- 福祉野菜バザー
地区の農家から提供いただいた野菜を販売する事業を通して、協力いただいた方々及び地区全体の福祉意識の醸成を図る。(7月予定)

主な活動等

写真はいずれも前回実施時に撮影したものです

一人暮らし高齢者とのふれあい交流



福祉野菜バザー



広報誌の作成

うさか 福祉だより 令和4年1月1日発行 第3号 鵜坂地区社会福祉協議会発行

会長挨拶 鵜坂地区社会福祉協議会 会長 島田 英世
新年あけましておめでとうございます。鵜坂地区のお住まいの皆さまにおかれましては益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。
日頃、社会福祉事業に対して多大なご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
昨年、一昨年とコロナ禍で封鎖していた事業の大半が中止の事態となり、皆さま方にご迷惑をおかけし誠に申し訳ありませんでした。
今年は楽観できる事業を前向きに考えて行きます。

2020東京パラリンピック聖火リレー出立式参加について
大西 貞夫 (富山県身体障害者福祉協議会 会長)

令和3年8月24日に開幕する東京パラリンピックに向け、15日に富山県内津波公園陸上競技場で新潟県・五十嵐選手会会長・市村市長など出席のもと、富山県内19市町村で出立式に富山県の障害者代表としての大西貞夫が参加しました。
新潟県が後援の車でパラリンピックでの選手の送迎は、県民社会を関心する点にもつながりました。
私は、富山県で採火された聖火を各火種に移し、出立者を誘導するルネサンスホール前庭の川除大橋選手に北京大会出場予定が期待の一歩に各市町村の代表となり一歩に聖火を移しました。
皆さまのおかげで身に余る光栄を得ることができ、この感動を一生の思い出とすることができました。
ありがとうございました。

非接触体温測定器等の寄贈

毎日のように新型コロナウイルスの感染発生時の報道がなされています。
今、一人ひとりがマスクの着用、手洗い消毒及び責任ある行動を徹底する事により、感染防止が図れます。
鵜坂地区社会福祉協議会では、鵜坂地区センターと公民館を軸とする感染予防の一環として、非接触体温測定器(非接触型)とアルコール消毒液(アルコール足踏み型)を寄贈いたしました。
人混みには、ぜひご利用ください。

「がん検診」推進プレート製作

鵜坂地区社会福祉協議会では、がん検診の推進を図るためプレートを作成し、各自治会・町内会のご協力を依頼いたしました。
「がん」は男性の2人に1人、女性の3人に1人が罹患するといわれています。
定期的な検診を受けて、早期発見に努め早期治療をすることが大切です。

会長のメッセージ

社会福祉の活動、目的等について地域住民の理解を深め、高齢者・障がい者・独居者への安心、安全を図るため、会食・配食・訪問等を通じて福祉支援とその充実に繋げたい。